

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信
～ 事業所訪問 vol.2 ～
「秩父エレクトロン(株)」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



強谷社長から製品の説明を受ける森町長

町長の見て・聞いて・話して

事業所訪問の第2回は、2月22日に下小鹿野の秩父エレクトロン(株)を訪問し、強谷隆彦社長、坂本榮治朗常務にお話を伺いました。

秩父エレクトロン(株)は、小鹿野工場の他にみどりが丘工業団地に工場を持ち、全従業員は81人の企業です。

小鹿野工場は、フォトマスク基板製造とエピタキシャルウエハの製造を行っています。

フォトマスクは、携帯、家電などの集積回路作成におけるフィルムのネガの役割をします。製造には1万分の1ミリのゴミも許さない清浄度と仕上げ技術が必要で、同社は、研磨・洗浄を超高精度に仕上げる世界有数の会社です。一般の人が見ると、出荷前と後では何ら変わらないと思われませんが、極めて平らで、人の目に見えないところで付加価値をつけています。

また、工場を囲むように、純水製造装置や薬品、廃液を処理する建物が数棟ありました。一般の工場は建屋があって、電気があり、機械があれば操業できますが、こうしたバックヤードがなければ、始めることのできない特殊な仕事であり、ゼロから始めるとなると初期投資やノウハウが

必要なため、簡単に海外では出来ないといえます。

お話の中で、同社で扱う基板研磨の約9割はリサイクル品で、バージン材は約1割だということに驚きました。世界中から集めてきたリサイクルの半導体のパターンを薬品で落とし、磨き直して、新品のように仕上げる技術は国内でトップクラスとのこと。半導体素材研磨加工の匠集団として常に世界最高を追い求め続ける企業であると感じました。

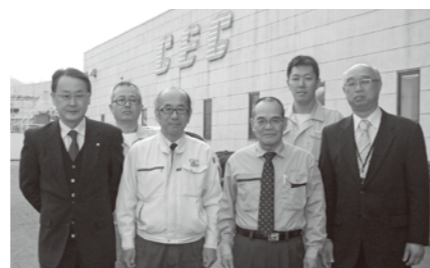
わが社の主力製品

半導体フォトマスク基板用ガラス、エピタキシャル成長、SiC(シリコンカーバイド)、サファイア、GaN(窒化ガリウム)、GaP・GaAs等の化合物半導体、MEMS、Siウエハ研磨加工、金属膜蒸着半導体材料の加工などを幅広く行っています。

ここに自信あり

みどりが丘工場では、SiC(炭化ケイ素)ウエハの研磨の技術開発に力を入れています。SiCウエハは、熱伝導率が高く、素子としての電力の損失が少なくなるという特性を生かし、省エネルギー化が期待できる次世代のパワー半導体といわれています。試算によれば、シリコンから次世代のパワー半導体に代わることで、原子力発電所7基がいらなくなるといわれています。ところが、SiCは硬く、シリコンなどに比べて、削りづらく、洗浄も難しい素材です。同社では、その技術開発に全力を挙げています。

前列左から森町長、強谷社長、坂本常務、長谷川副町長、後列左から峰岸課長、峰岸(QC)▶



◀工場の周りには、超純水設備や廃液を処理する大きな建屋が並んでいる。



▲社員旅行の一場面

▼クリーン度クラス1のクリーンルームも所有



会社概要

代表者 代表取締役 強谷隆彦
従業員数 81人
創業 1985年
所在地 小鹿野町下小鹿野1111番地
電話 0494-75-3333



こんにちは。町長です。

「若い農業後継者が育っています。」

小鹿野町では、現在、「明日の農業担い手育成塾」を開催して、若い農業後継者の育成を図っています。

この事業は、平成25年度から始まっており本年度で6年目になりますが、毎年1~2名の新規就農者が育っています。平成29年度までに7名が卒業して就農し、本年度は新たに2名が入塾します。入塾者は町内外から入塾しておりますが、町外からの入塾者も5名おります。

また、塾以外でも就農する町内の若手も数名出てきております。

取り組んでいる農業分野は、施設園芸であるハウスきゅうりの栽培です。

小鹿野のハウスきゅうりは古くから栽培されており、東京の市場で大変高い評価をいただいております。そういった意味で小鹿野ハウスきゅうりは、先人たちのご努力によりブランドが確立していました。

しかし、近年、後継者不足などによりハウスきゅうり農家が減少し、出荷額も少なくなっておりました。ただ、今まで小鹿野のハウスきゅうり栽培を支えてきた指導者がまだいらっしやることから、その人達が塾生を快く引き受け入れていただき、しっかりした指導が出来る体制が整ったことから、この事業が成功することとなりました。

更には、JAちちぶを中心とした集出荷体制が確立していることも成功の要因のひとつとなっております。

小鹿野町の気候がハウスきゅうりの栽培に適しており、栽培技術も確立しブランド力も持っている、そして何と言っても大消費地の東京が近くに控えているなどの理由から、これからもハウスきゅうり栽培は成長の可能性が高い農業分野であると思います。

これから、塾を育った若手農業者が自立して経営を軌道に乗せていくには多くの課題が山積していると思っております。是非努力をしていただきたいと思います。町も出来る限りの支援をして参ります。

小鹿野町長 森 真太郎

災害時における協定を締結

4月13日にNPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害が発生した際に、コメリの店舗や物流センターから必要な物資を必要な場所に、迅速かつ円滑に供給していただくもので、町の災害対応の活動に際し、大きな力になっていただける内容となっております。

問合せ●小鹿野庁舎・総務課☎75-1225



町職員の異動

4月1日からの町の人事についてお知らせします。

■異動職員(課所長等)

おもてなし課長 茂木寅二
教育委員会事務局長(兼学校教育課長) 磯田定志
【新任課長】
産業振興課長 石田伸二
議会事務局長 近藤勝英
総務課付け派遣(秩父広域市町村圏組合水道局小鹿野事務所長) 高橋 豊

■新規採用職員

総務課 染野綾汰
総合政策課 山岸勇輝
税務課 小池拓弥
会計課 猪野木乃葉
建設課 田部井勇介
学校教育課 高橋祐哉
社会教育課 加藤淳太
小鹿野保育所(管理栄養士) 島田千穂

【新規再任用職員】

総務課 強矢立家

■3月31日付退職者

おもてなし課長 強矢立家
産業振興課長 坂本正明
中央公民館長 坂本 進
病院主幹 磯田とし子
小鹿野幼稚園主任 宮原容子
小鹿野保育所主任 横田美栄子
おもてなし課主事 佐藤圭一
小鹿野保育所管理栄養士 新井知美
【再任用任期満了者】
会計課 斉藤 薫
病院 茂木経夫